

第2回検討部会における主な論点整理について

1. 会議の概要

日時 令和5年8月22日（火）13:30～16:00

- 議題 1. 前回部会の会議録の作成について
 2. 市立幼稚園・保育所及び認定こども園の現状について
 3. 市立幼稚園・保育所及び認定こども園の課題について

2. 市立幼稚園・保育所及び認定こども園の現状について

(1) 教育・保育施設類型別概要

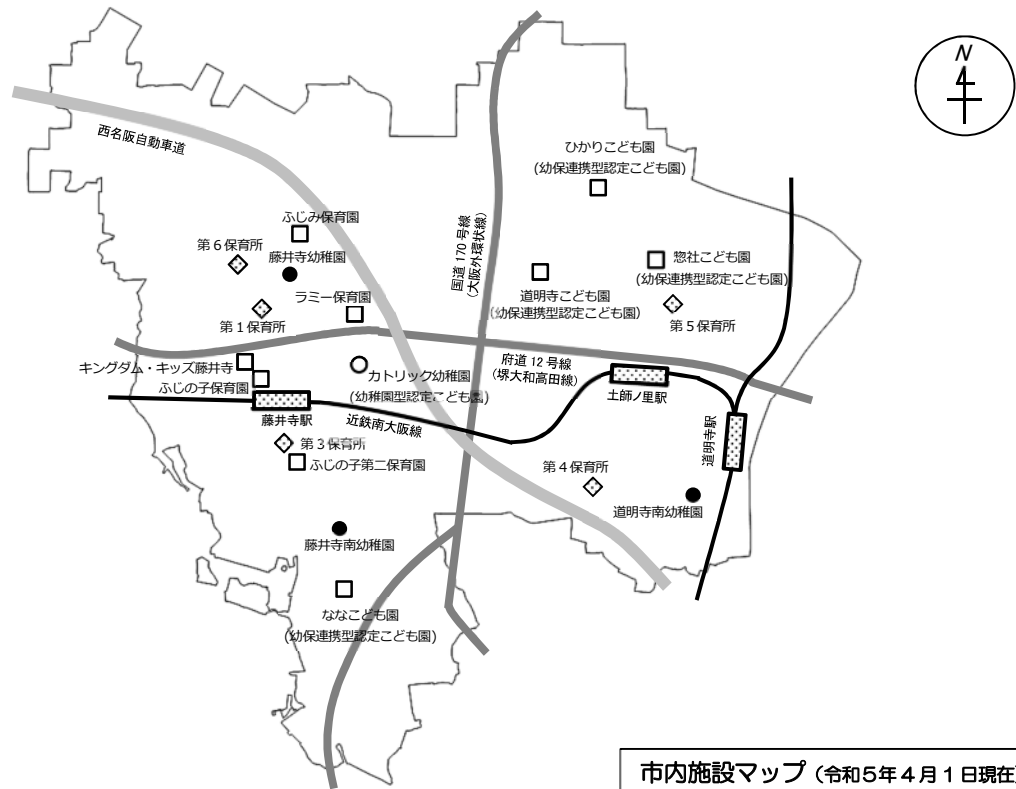
	幼稚園	保育所	幼保連携型認定こども園
所管省庁	文部科学省	こども家庭庁	こども家庭庁
根拠法	学校教育法	児童福祉法	就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律
目的	「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」（学校教育法第22条）	「保育を必要とする乳児・幼児を日々保護者の下から通わせて保育を行うこと」（児童福祉法第39条）	「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとしての満3歳以上の子どもに対する教育並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育ての支援を行うこと」（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第7項）
対象	満3歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児（藤井寺市では4歳以上の幼児）	保育を必要とする乳児・幼児	満3歳以上のこども及び満3歳未満の保育を必要とするこども
教育・保育内容の基準	幼稚園教育要領	保育所保育指針	幼保連携型認定こども園教育・保育要領
教育・保育時間	4時間を標準とする。ただし、幼児の心身の発達程度や季節などに適切に配慮するものとする。	8時間を原則とし、その地方における乳幼児の保護者の労働時間その他家庭の状況等を考慮して、保育所の長がこれを定める。	保育の必要性の有無により、それぞれ幼稚園・保育所の教育・保育時間と同様。

	幼稚園	保育所	幼保連携型認定こども園
休園日及び休業日	土曜日、日曜日、祝日 休業日は長期休業日（春休み、夏休み、冬休み）、創立記念日	日曜日、祝日、年末年始	日曜日、祝日、年末年始 休業日は土曜日、長期休業日（春休み、夏休み、冬休み）
通園区域	有り	無し	無し
職員等の条件	幼稚園教諭普通免許状	保育士資格を有し、保育士登録簿に登録を受けること。	幼稚園教諭普通免許状を有し、かつ、保育士資格を有し、保育士登録簿に登録を受けること。
1学級当たりのこどもの数及び教員（保育士）1人当たりのこどもの数	1学級の幼児数は、35人以下を原則とする。	1学級当たり乳幼児数/学級編制基準なし。 保育士の数は、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上満3歳に満たない幼児おおむね6人につき1人以上、満3歳以上満4歳に満たない幼児おおむね20人につき1人以上、満4歳以上の幼児おおむね30人につき1人以上とする。ただし、保育所1につき2人を下ることはできない。 （藤井寺市では満1歳以上満2歳に満たない幼児については5人につき1人以上。）	0～2歳児について、保育所と同様の配置基準。 3～5歳児について、幼稚園と同様の学級編成基準。（大阪府では満3歳以上満4歳未満の園児については25人以下。道明寺こども園では4歳以上児は30人で学級を編制。）
給食の提供	任意（藤井寺市では提供なし。）	義務	義務（保育の必要性があることについて。）（藤井寺市では全園児に提供。）

(2) 本市における教育・保育施設の運営状況

①市内施設一覧（幼稚園・保育所等）

本市内には、市立幼稚園が3園、市立保育所が5園、市立認定こども園が1園あり、私立園については、それぞれ保育所4園、認定こども園4園（うち1園は幼稚園型）、小規模保育事業1か所となっています。



市内施設マップ（令和5年4月1日現在）

市立幼稚園

- ・藤井寺幼稚園
- ・藤井寺南幼稚園
- ・道明寺南幼稚園

市立保育所

- ・第1保育所
- ・第3保育所
- ・第4保育所
- ・第5保育所
- ・第6保育所

私立保育園

- ・ラミー保育園
- ・ふじの子保育園
- ・ふじの子第二保育園
- ・ふじみ保育園

私立小規模保育事業

- ・キングダム・キッズ藤井寺

市立認定こども園(幼保連携型)

- ・道明寺こども園

私立認定こども園(幼保連携型)

- ・ひかりこども園
- ・惣社こども園
- ・ななこども園

私立認定こども園(幼稚園型)

- ・藤井寺カトリック幼稚園

②市立幼稚園概要

- 4歳児から入園可能（2年保育）。住所地による通園区域あり。
- 保育料は無償（教材費等の諸費徴収あり）。
- 未就園児家庭を対象に、「きらりキッズ（園庭開放等の子育て支援）」を実施。
- 3歳児を対象に、園生活を体験する「あひる組」を月1～2回程度実施。

（令和5年4月1日現在）

名称	在 所 (エリア)	利用人数			利用 定員(人)	定員 充足率	開園時間	休園日	園の特色ある教育活動の取組
		4歳	5歳	計					
藤井寺幼稚園	小山 1-7-29 (北西)	18	11	29	210	13.8%	8:30 ～ 15:00 (水のみ ～11:30)	夏 季・ 冬 季・ 春 季 休 業・ 創 立 記 念 日 土 ・ 日 ・ 祝 日 及 び	絵本（絵本スペシャルタイム、 絵本貸し出し など）
藤井寺南幼稚園	藤井寺 3-2-19 (南西)	10	18	28	70	40.0%			食育（学習畑、栽培活動、命の 教室〈園児向け講演〉など）
道明寺南幼稚園	道明寺 4-2-18 (南東)	10	14	24	70	34.3%			食育（栽培活動、SDGsの取 組、食育講座 など）

③市立保育所概要

- 保育を必要とする0歳児から5歳児が、市の利用調整を経て入所可能。
- 全ての保育所で障がい児保育を実施。
- 3歳に達した日以降の4月から保育料は無償（教材費等で諸費徴収あり）。
- 未就園児を対象に、「わんぱく広場（イベント）」、園庭開放等を実施。

（令和5年4月1日現在）

名称	在 所 (エリア)	利用人数(人)							利用 定員 (人)	定員 充足率	開園時間	休園日	延 長 保 育	一 時 保 育	病 児 保 育
		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計							
第1保育所	北岡 1-4-17(北西)	3	15	18	27	26	21	110	120	91.7%	7:00～ 19:00	日・祝日及び 年 末 年 始	○	○	○
第3保育所	藤井寺 1-19-58(南西)	6	19	24	30	27	29	135	120	112.5%			○	×	×
第4保育所	道明寺 6-15-34(南東)	3	9	10	13	17	14	66	70	94.3%	○		×	×	
第5保育所	国府 1-3-28(北東)	3	10	10	12	12	12	59	68	86.8%	×		×	×	
第6保育所	小山 1-16-18(北西)	2	10	12	12	13	14	63	70	90.0%	×		×	○	

④市立認定こども園概要

- 保育の必要がない4歳児から5歳児が入園可能。
- 保育を必要とする0歳児から5歳児が、市の利用調整を経て入園可能。
- 障がい児保育、預かり保育、延長保育を実施。
- 3歳に達した日以降の4月から保育料は無償（教材費等で諸費徴収あり）。
- 未就園児を対象に、「にこにこランド（イベント）」、園庭開放等を実施。

（令和5年4月1日現在）

名称	在 所	認定 区分	利用人数(人)							利用 定員(人)	定員 充足率	開園 時間	休 園 日	休 業 日
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計					
道明寺こども園	林 3-1-25 (北東)	1号	-	-	-	-	21	14	35	63	55.6%	7:00～ 19:00	日・祝日及び 年 末 年 始	春 季・ 冬 季・ 夏 季
		2・3号	6	20	23	24	24	25	122	127	96.1%			・

（5歳児は令和5年4月から、4歳児は令和6年4月（予定）から混合クラス）

(3) 施設の老朽化について

① 幼稚園

i. 園の外観

- 藤井寺幼稚園（昭和 43 年度築）



- 藤井寺南幼稚園（昭和 46 年度築）



- 道明寺南幼稚園（昭和 47 年度築）



ii. 園の老朽化の写真

- 園舎の建具



※建具にズレが生じている。

- 園舎の柱型



※柱型のモルタルに剥離が生じている。

- 保育室の床



※床に浮き沈み、きしみが生じている

②保育所

i.園の外観

- 第1保育所（平成9年度築）



- 第3保育所（昭和45年度築）



- 第4保育所（昭和45年度築）



- 第5保育所（昭和49年度築）



- 第6保育所（昭和51年度築）



ii.施設の老朽化の写真

- 保育室壁



※壁に剥離が生じている。

- 外壁鉄骨レール



※レールにサビが生じている。

- 保育室天井



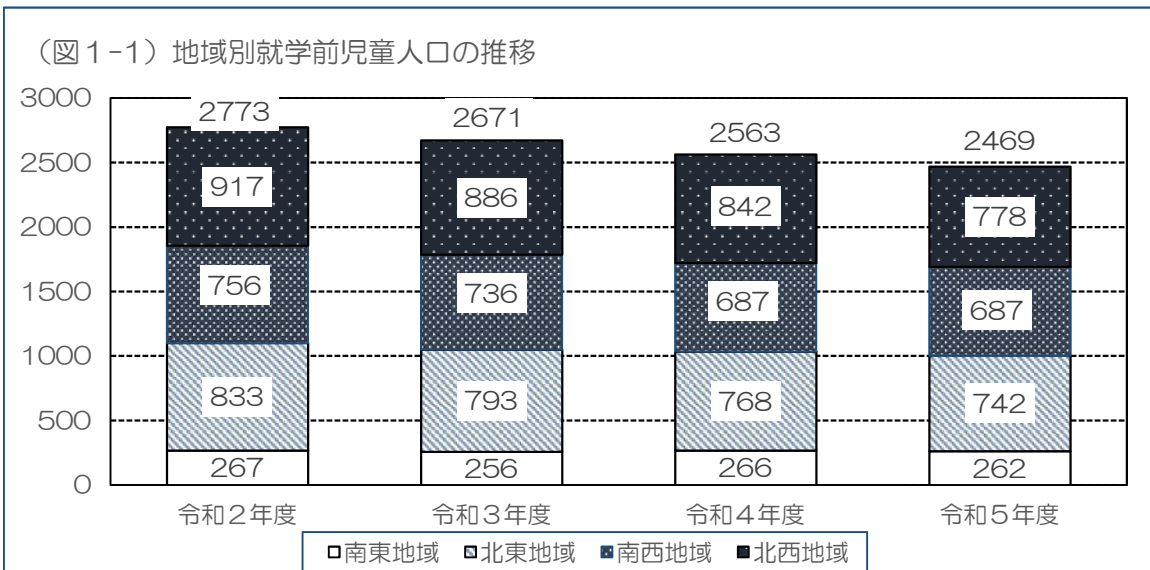
※天井に剥離が生じている。

(4) 利用ニーズの推移

- 就学前児童数が減少傾向
- 1号認定こどもが減少傾向
- 2、3号認定こどもの供給が不足する傾向
- 地域内就園率について、南東地域が他の地域に比較して突出して低い

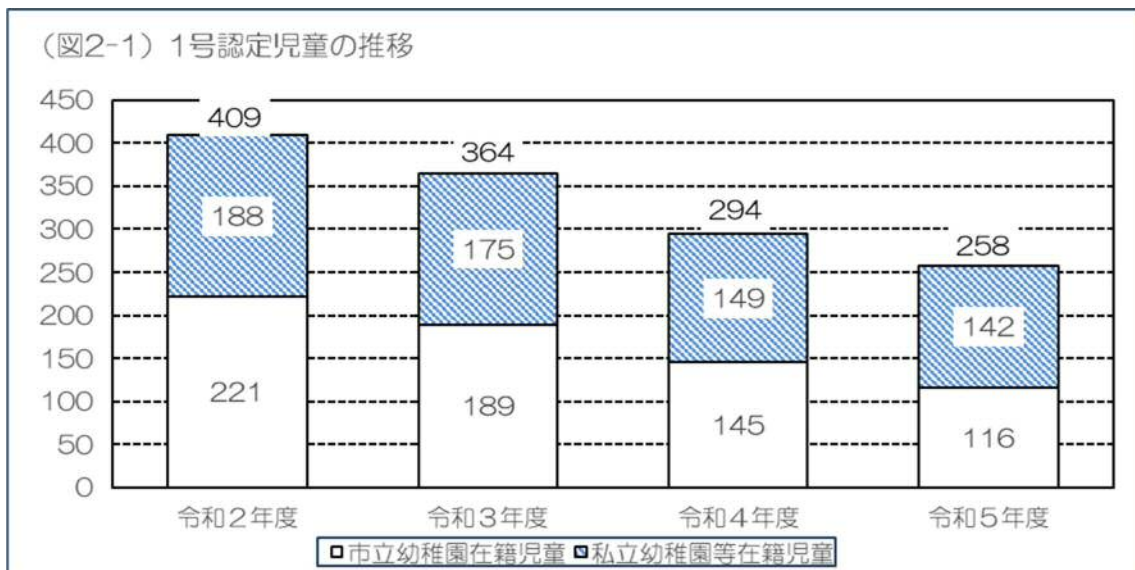
①地域別就学前児童人口

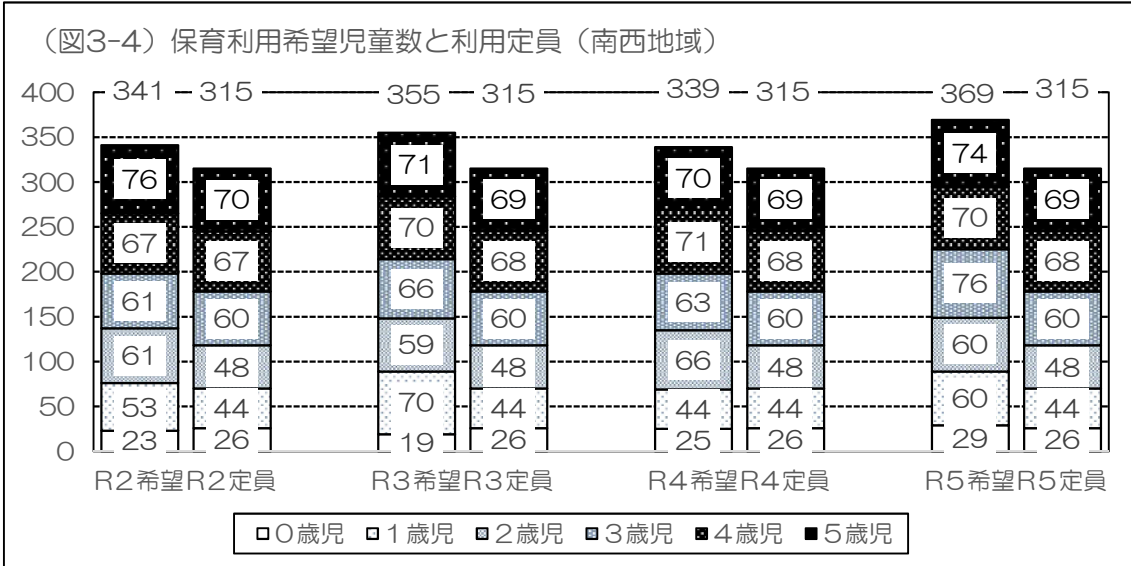
市内の就学前児童人口について、直近4カ年の傾向を分析すると、市内南東地域を除いた3地域で児童数が大きく減少していることが分かる。(図1-1)



②教育利用児童の状況

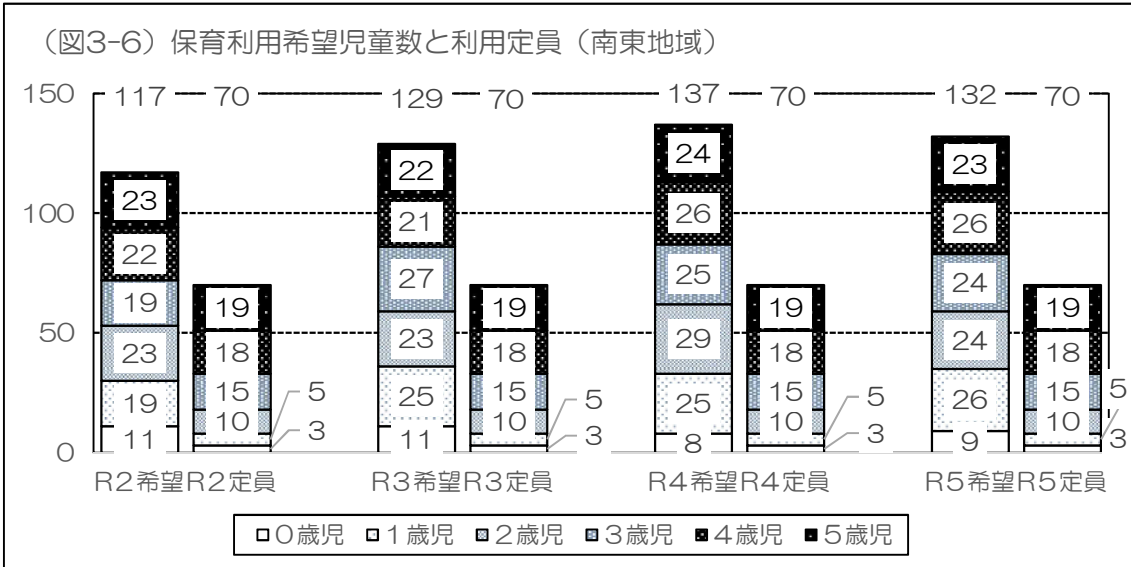
1号認定こどもは年々減少する傾向にある。なお、内訳の市立幼稚園在籍児童と私立幼稚園等在籍児童で共に減少傾向にある。(図2-1)





(表 3-2) 南西地域

地域	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	総計
令和2年度	3	▲9	▲13	▲1	0	▲6	▲26
令和3年度	7	▲26	▲11	▲6	▲2	▲2	▲40
令和4年度	1	0	▲18	▲3	▲3	▲1	▲24
令和5年度	▲3	▲16	▲12	▲16	▲2	▲5	▲54



(表 3-4) 南東地域

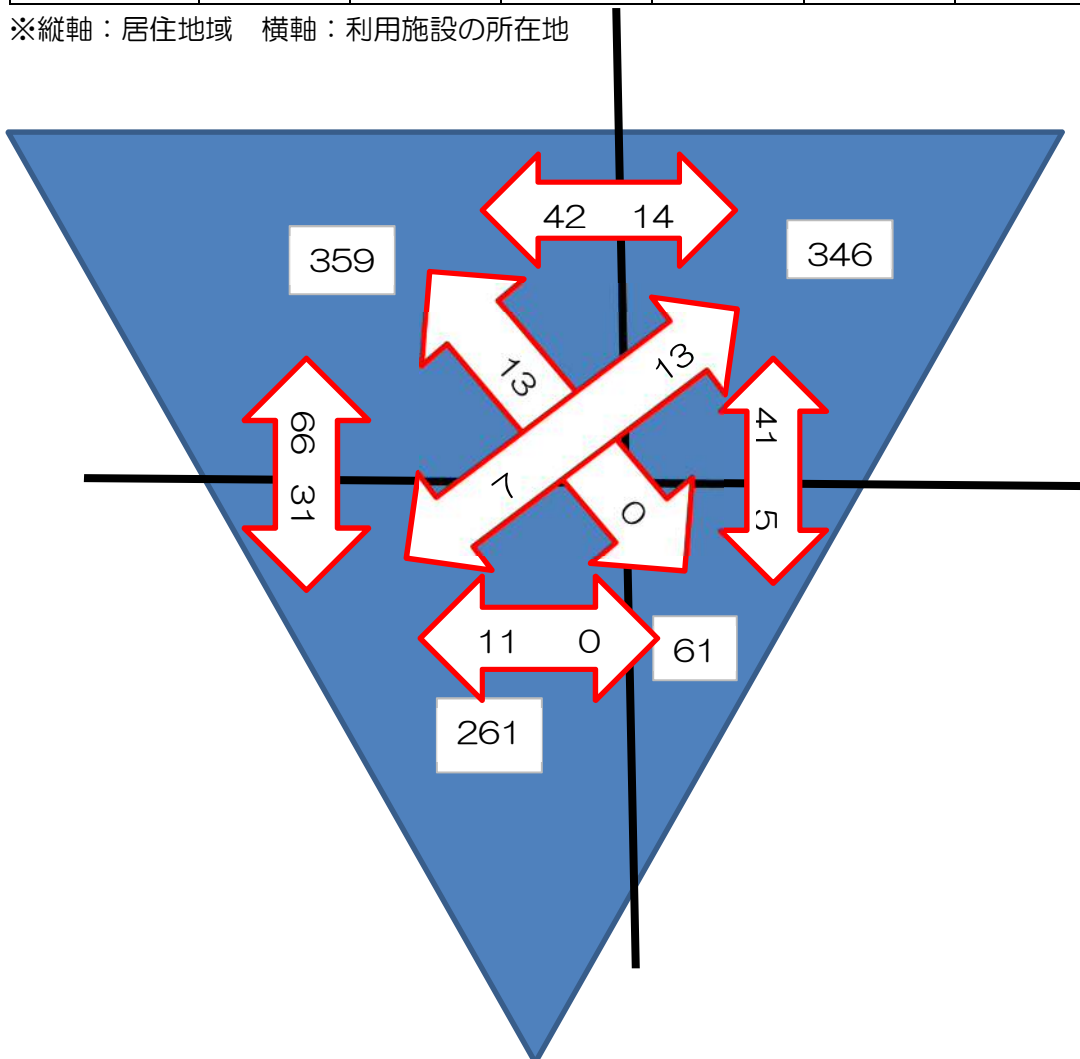
地域	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	総計
令和2年度	▲8	▲14	▲13	▲4	▲4	▲4	▲47
令和3年度	▲8	▲20	▲13	▲12	▲3	▲3	▲59
令和4年度	▲5	▲20	▲19	▲10	▲8	▲5	▲67
令和5年度	▲6	▲21	▲14	▲9	▲8	▲4	▲62

④保育施設入所児童の、居住地と利用施設の所在地との関係

令和5年度

地域	北西地域	南西地域	北東地域	南東地域	総計	地域内就園率
北西地域	359	31	14	0	404	88.9%
南西地域	66	261	13	0	340	76.8%
北東地域	42	7	346	5	400	86.5%
南東地域	13	11	41	61	126	48.4%
総計	480	310	414	66	1270	-

※縦軸：居住地域 横軸：利用施設の所在地



3. 市立幼稚園・保育所及び認定こども園の課題について

		幼稚園	保育所	幼保連携型認定こども園
施設数		3園	5箇所	1園
基本理念		<ul style="list-style-type: none"> ● 「～一人一人の「未来に向かう力」を育む 豊かな幼稚園～」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「一人一人の生きる力を豊かに育てる」 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「一人一人の生きる力を豊かに育てる」
強み		<ul style="list-style-type: none"> ● こどもの主体性を育む保育環境作りの研究に力を入れている。 ● 小中学校とのつながりが深く、連携する体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもの一日の生活リズムに添った保育を行っている。 ● こどもの発達段階に即した、個々の発達を促す取り組みに力を入れている。 ● 幅広い年齢の関わりを通じた保育を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な集団活動や幅広い異年齢交流を体験することができ、人とかかわる楽しさや、友達と協同する喜びをより深く感じることができる。
課題	施設類型ごと	<ul style="list-style-type: none"> ● 園児数の減少により、集団教育に支障をきたす恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育を希望する比率が高まっており、既存の保育所だけでは待機児童を解消できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後、利用者アンケート等を通して把握していくこととしている。
	共通	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の老朽化とそれに伴う修繕費や改修工事費用の発生 ● 地域における保育需要と供給に偏りがあることでのミスマッチの発生 ● 公立保育施設としての役割の明確化が必要 ● 施設類型ごとに教育・保育が個別化しやすく、保育者の異動、同じ方向性での教育・保育が推進しにくい。 		

4. 部会の意見について

- 明らかに南東地域と南西地域で供給が不足している。この地域の人たちは北側の地域へ、線路を超えてこどもを通わせている。
- 公立施設でも、3歳児保育、給食をしてほしいという声が多い。
- 公立施設が示すべきことは、幼児教育・保育は本来こうあるべきだということである。
- 私立だけに任せると、必ずそこから漏れる人がいる。これを受けるのが行政の仕事だと思う。いわゆる「ウェルビーイング」を推進していく必要がある。
- 道明寺こども園の運営に際し、大規模な組織を運営する課題として、職員の勤務時間が異なることにより先生方同士が協議する時間取りにくいといった課題はある。
- 今後も使う施設であれば、お金をかけて衛生面も施設の機能面も向上させる必要がある。財政が厳しいとは思いますが、ご対応いただきたいと思う。
- 認定こども園は保護者の就労に関係なく通園できるのでこどもにとって一番いい場所であるはず。
- 共働きが増える中で、0、1歳という低年齢児の受け入れが増えていっていることに対する対応が課題と感じている。
- 道明寺こども園について、もう少し規模が小さければ動きが取りやすい。
- 保育士を雇用するために出来る限りのことをしているが、応募がないのが現状である。